

自主運行バス等運営基準について（参考事例）

	藤枝市	焼津市	徳島県徳島市	熊本県熊本市
運行	サービス水準設定あり	最低保障サービス水準あり	運行支援基準あり	運行支援基準あり
運営基準 （運行継続基準）	○収支率15%以下	○年間利用者数 市の人口以上 ○市バスを便利と感じる方の割合 過去3年間平均20%程度 ○1人1回あたりの輸送コスト (経費－収入) ÷ 年間利用者数がタクシー初乗料金（690円）程度 [個別基準] ○沿線人口当たり年間利用者数 沿線人口の60%以下 ○基準収支率との差 実際の収支率が達成すべき収支率（基準収支率）より5%以上低い場合	○2年連続で採算率25%未満	○収支率30%以下
見直しの内容	●廃止を視野にいれた大幅な見直し	●基準収支率より上 A. 継続した改善を検討 ●基準収支率-5%より上 B. 沿線地域に協力を求めるとともに、利用促進を中心とした改善策を検討 ●基準収支率-5%以下で、沿線人口当たりの年間利用者数60%より上 C. 沿線地域の参加・協力を求めるとともに、コスト削減策及び利用促進策を検討 ●基準収支率-5%以下で、沿線人口当たりの年間利用者数60%以下 D. 沿線地域の参加・協力を求めるとともに、廃止も含めた抜本的見直し策を検討	●路線廃止指示の可能性あり	●見直し改善の取り組みを行い1年で10%以上、2年で20%以上、3・4年以降は30%以上を達成しない場合は行政バスとしては廃止